

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	住宅計画小委員会	主 査 名：高井宏之 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)	委員長名：菊地成朋 主 査 名：定行まり子
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、「住居・住宅地（大会発表論文分類による）」を対象とした課題を検討することを目的とし、下記の重要かつ緊急性のある課題を検討する。</p> <p>① 最近 10 年間の住宅計画の調査研究のまとめと出版企画 ② 東日本大震災の住宅復興等に関する研究 ③ 住宅計画・開発事例の動向と研究課題の整理 ④ 住宅系研究論文報告会の実施 ⑤ 住宅研究における若手研究者の論文発表会の開催 ⑥ 住宅関連学会、及び設計事務所研究会等との意見交換</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：下記の中園真人、新井信幸、内海佐和子の 3 名を公募した</p> <p>高井宏之（名城大学） 安枝英俊（京都大学） 新井信幸（東北工業大学） 内海佐和子（昭和女子大学） 川崎直宏（市浦ハウジング&プランニング） 切原舞子（千葉大学） 佐々木誠（日本工業大学） 定行まり子（日本女子大学） 佐野こずえ（近畿大学） 鈴木雅之（千葉大学） 高田光雄（京都大学） 中園真人（山口大学） 安武敦子（長崎大学） 山口健太郎（近畿大学） 山本理（街と住まいの研究室）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>復興住宅WG （東日本大震災の被災地における復興住宅について、関連諸研究等の情報収集を行うと共に、次の条件を備えた計画手法を構想・提案する。）</p>	
2012 年度予算	185,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 7 回住宅系研究論文報告会 参加者数 73 名(建築社会システム委員会、都市計画委員会、農村計画委員会と共催) 2. シヤレール荻窪、多摩平の森「たまむすびテラス」 参加者数 20 名 3. 住宅復興における実務と研究のはざま～研究者と実務者のクロストーク～ 参加者数 65 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p style="text-align: center;">目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>①出版企画の基本方針を検討し、復興住宅としてこれから出てくる住宅・住宅地の図面等を集め、出版に結びつけていくこととした。</p> <p>②仮設住宅居住者の調査計画の検討を行い、あすと長町仮設住宅（仙台市太白区：9月）、平成の森仮設住宅（南三陸町歌津：11月、1月）、中瀬仮設住宅（南三陸町志津川：2月）を実施した。なお、調査実施は復興住宅WGメンバーを中心に行った。</p> <p>またこの成果を、日本建築学会東日本大震災2周年シンポジウムにて発表した。</p> <p>③住宅計画・開発事例の動向調査の一環として、シャレール荻窪、多摩平の森「たまむすびテラス」の見学会を実施した。</p> <p>④第7回住宅系研究論文報告会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災への緊急対応に注力したため実施せず。 <p>⑤内海佐和子委員に「これまでの研究の概要」と題し、研究の取り組みがあった。</p> <p>⑥上記催し物2の通り、集合住宅研究会とのクロストークにて、住宅設計者との意見交換を行った。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>1. 特に問題はない。</p>